

一般質問通告一覧表

令和5年 第4回定例会

質問 順序	議員名	質問項目		細目方 式選択
1	柏崎秀行	1	物価高騰に効果的な支援を	
2	宮本やよい	1	ワクチン接種による健康被害への対策について	
3	高橋利勝	1	高齢者の補聴器購入に助成を	
4	梅村智秀	1	まずは簡易的冷房機導入を	
5		2	街路灯の維持は行政の責任と負担で	
6		3	特別養護老人ホームのあり方について	○
7	丑若浩行	1	しごと体験交流館の農業現場での有効利用について	
8	加藤徹己	1	震災を教訓にした防災体制について	
9	阿保静夫	1	関係人口の増を目指す取組みを	
10	水谷令子	1	どう伝える？子どもへの防災教育	
11	藤田直美	1	書かない窓口申請の取組みについて	

一 般 質 問 通 告 書

議席番号 11番

議員名 柏崎秀行 (1問目)

質問事項	物価高騰に効果的な支援を		
質問要旨	<p>物価高騰の高止まりが続き、市民の暮らしに大きな影響を与えています。国や道は低所得者を中心に給付金や福祉灯油を予定し、本町でも定例会初日に可決しました。物価上昇率は横ばいで3%以上となったのは12か月連続です。未だ先行きの見えない中、全体的な支援が必要と考え伺います。</p>		
要旨の明細	<p>①物価高騰対応の地方創生臨時交付金や類似する国や道からの予算の今後の見通し、また令和5年度における地方創生臨時交付金の執行状況を伺います。</p> <p>②今定例会で物価高騰対策として低所得者の世帯への給付、福祉灯油が可決されたところですが、物価高騰で苦しんでいる全市民を対象とした支援策が急務だと考えますが見解を伺います。</p>		
<p>※ 要旨の明細は、小項目にわたり、できる限り具体的かつ詳細に記載すること</p>	<p>-----</p> <p>-----</p> <p>-----</p> <p>-----</p> <p>-----</p> <p>-----</p> <p>-----</p> <p>-----</p> <p>-----</p> <p>-----</p>		
質問の相手	町長	一問一答細目方式	有 <input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/>

十分な答弁が得られるよう具体的に記載して下さい。(複数枚可)

一 般 質 問 通 告 書

議席番号 1 番

議員名 宮 本 やよい (1問目)

質問事項	ワクチン接種による健康被害への対策について		
質問要旨	<p>新型コロナワクチンにおける健康被害救済制度は2023年11月29日時点で健康被害認定数5,357件、うち死亡377件となっています。本町においても被害者の実態調査を行い、そのような方々に手を差し伸べ救済することはもちろん、制度についても広く周知するべきと考えます。</p>		
要旨の明細	<p>日本では2021年2月から新型コロナワクチン接種が開始されましたが、接種が始まってから様々な健康被害が相次いでいます。例えば、スポーツ選手の突然死・現役世代の芸能人の病気や死亡報道、以前は若い人はあまりかからなかった帯状疱疹、心疾患や脳疾患、癌や基礎疾患の再燃・増悪など、ほかにもたくさんの事例がありますが、そのような実態を踏まえ、本町の現状と今後の方針について伺います。</p>		
<small>※要旨の明細は小項目にわたることができる限り具体的かつ詳細に記載すること</small>	<p>(1) 本町の接種後死亡数、副反応及び後遺症の実態</p> <p>(2) 本町の副反応などの相談件数と内容、申請数</p> <p>(3) 制度の周知方法についての現状と今後の方針</p>		
質問の相手	町 長	一問一答細目方式	有 <input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/>

十分な答弁が得られるよう具体的に記載して下さい。(複数枚可)

一 般 質 問 通 告 書

議席番号 9 番

議員名 高 橋 利 勝 (1問目)

質問事項	高齢者の補聴器購入に助成を		
質問要旨	<p>高齢化が進むにつれて、難聴や聞こえの衰えを感じる高齢者が増えています。そこで、高齢者の補聴器の購入に当たって助成制度を設ける考えはないか伺います。</p>		
要旨の明細	<p>高齢化が進むことによって肉体の衰えが進みますが、その一つに聴覚の衰えがあります。また、最近はこの聴覚の衰えが認知症の発症に結びつくという声もあり、そのため補聴器をつける高齢者も少なくありません。</p> <p>自治体によっては、高齢者の皆さんの積極的社会参加や地域交流を支援するとともに、健康増進と認知症の予防等となることを目的として補聴器の購入費を助成しているところもあります。</p> <p>本町としても、高齢者の皆さんが社会参加や地域交流の支援、さらには認知症予防のため、補聴器の購入経費を助成する制度を設けるべきと思いますが、考え方を伺います。</p>		
※要旨の明細は小項目にわたることができる限り具体的かつ詳細に記載すること			
質問の相手	町 長	一問一答細目方式	有 <input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/>

十分な答弁が得られるよう具体的に記載して下さい。(複数枚可)

一 般 質 問 通 告 書

議席番号 5 番

議員名 梅 村 智 秀 (1問目)

質問事項	まずは簡易的冷房機導入を		
質問要旨	<p>庁舎や公共施設、学校が今夏のような記録的な猛暑に見舞われると、職員や来庁者、利用者、児童・生徒に熱中症の危険が生じ、執務効率も著しく低下することは明白であり、早期の対策が必要であるが、事実と所信を質す。</p>		
要旨の明細	<p>町内の小学校にはエアコンの設置が完了し、今後については中学校や公共施設への設置が予定されているが、1年ですべての公共施設等にエアコンを設置することは財政的にも困難であり、年次計画を策定し準備・整備の検討を行う旨が示されている。</p> <p>1、公共施設等のエアコン設置年次計画の進捗状況、概要を問う。</p> <p>2、比較的安価で設置が容易なスポットクーラーや窓用エアコンを購入し、年次計画により速やかに本格的なルームエアコン整備がなされない庁舎や公共施設等に暫定的に設置し、急場をしのぐことが不可欠である。品不足などで入手困難とならぬよう早期の手配を行うことも必要であるが、見解を問う。</p>		
※要旨の明細は小項目にわたることができる限り具体的かつ詳細に記載すること			
質問の相手	町 長・教 育 長	一問一答細目方式	有 <input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/>

十分な答弁が得られるよう具体的に記載して下さい。(複数枚可)

一 般 質 問 通 告 書

議席番号 5 番

議員名 梅 村 智 秀 (2問目)

質問事項	街路灯の維持は行政の責任と負担で		
質問要旨	<p>本町では街路灯維持費（電気料金）について、設置されている自治会に対し9割の交付を行い、残り1割を自治会負担としているがその経緯や根拠が曖昧である。街路灯の維持は行政の責任においてなされるべきであるが事実と所信を質す。</p>		
要旨の明細	<p>街路灯について、LED化される際に町と自治会間との協議がなされたとされるが、所管課や自治会関係者に聴取を行ってもその経緯や維持費（電気料金）の負担割合の根拠などの文書も確認されず判明しない。</p> <p>街路灯とは主に夜間の交通の安全や円滑化、事故防止のために設置されるものであり、夜間の防犯や歩行者の安全な通行を図る防犯灯とは異なると解される。いずれにおいても、個人宅等の防犯を主たる目的としたものでない限り、行政の責任と負担において街路灯の維持管理がなされ、公道・生活道路の安全が担保されるべきであるが見解を問う。</p>		
※要旨の明細は小項目にわたりできる限り具体的かつ詳細に記載すること			
質問の相手	町 長	一問一答細目方式	有 <input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/>

十分な答弁が得られるよう具体的に記載して下さい。(複数枚可)

一 般 質 問 通 告 書

議席番号 5 番

議員名 梅 村 智 秀 (3問目)

質問事項	特別養護老人ホームのあり方について		
質問要旨	<p>令和10年に税法上の耐用年数を迎える特別養護老人ホーム（以下、「特養」とする。）は、町長の公約により現在の計画を前倒しして、令和8年に供用開始を目指すと言われていたが、拙速に過ぎる感が否めない。現在の進捗状況と今後の方針について事実と所信を質す。</p>		
要旨の明細	<p>特養について、第8期銀河福祉タウン計画では令和5年度までにあり方についての検討を進め、第9期計画期間中（令和6年度～8年度）に整備、第10期（令和9年度～令和11年度）に供用を開始する方向で協議を進めるとされている。</p> <p>1、第8期計画を前倒しして令和5年度5月から11月までに規模等決定・詳細検討、12月に予算編成、令和6年度設計業務、令和7年度工事施工、令和8年度供用開始と議会及び町民によるワーキンググループにも示されていたところ、12月5日開催の議員協議会にて突如としてその延期が報告され、その見通しの甘さが露呈した。その具体的理由と今後の予定について問う。</p> <p>2、コンサルにより示されたすべてのパターンにおいて、今後の人口減少に応じた利用者の推移は令和7年以降施設利用者が減少、在宅系サービスでは令和12年頃から、居住系サービスでは令和17年頃から経営が困難となり、撤退する事業所の可能性について言及がある。いずれのパターンにしても人口減少及び高齢者人口の減少</p>		
※要旨の明細は小項目にわたりできる限り具体的かつ詳細に記載すること			
質問の相手	町 長	一問一答細目方式	(有) 無

十分な答弁が得られるよう具体的に記載して下さい。(複数枚可)

<p>要 旨 の 明 細</p> <p>※ 要旨の明細は、小項目にわたり、できる限り具体的かつ詳細に記載すること</p>	<p>が特養のあり方に大きな影響を及ぼすことと捉えられるが、本町の人口減対策として具体的かつ効果的な政策を有しているか事実と見解を問う。</p>
	<p>3、現段階の検討状況として、町内の介護事業所（老健80床）と協議中であるが、円滑に進まない事由のひとつとして特養を担うことによる経営収支面の懸念が挙げられたが、具体的に必要な予算を試算・検討し、その協議を前に進め、現実的なものとするよう努めるべきであるが見解を問う。</p>
	<p>4、本町は人口減少及び高齢者人口の減少が進展している状況であり、介護サービス利用者の減少傾向は明らかである。利用者にとって多様な選択肢のひとつとなる町内民間の介護事業者への配慮も重要であり、特養との利用料金差額を補てんする体制づくり、また、近隣町村である陸別町で特養の新設および足寄町でも新設予定があり、これらの情報収集や可能な範囲での連携等も模索する必要があるが見解を問う。</p>

一 般 質 問 通 告 書

議席番号 3 番

議員名 丑 若 浩 行 (1問目)

質問事項	しごと体験交流館の農業現場での有効利用について		
質問要旨	<p>本町の基幹産業である農業は、慢性的な人手不足にあります。しごと体験交流館を有効利用することで、道外の人手を集める策をさらに進めるべきです。</p>		
要旨の明細	<p>1. 当該施設の利用状況と、現在どのようなPRを行ってきたかを伺います。</p> <p>2. 本別町のみならず、十勝の農業は慢性的な人手不足に直面しています。一方で、本州から旅行を兼ねてバイトをしながら一定期間十勝に滞在する若者も存在します。道の駅で車中泊をしたり、無料の本別公園で連泊をして、町内外でバイトをしながら過ごされる方もいます。JA本別町も参加をしている「1日農業バイト」というアプリを利用したの旅行兼バイトは、今後ますます利用者増が見込まれるところです。本別町にバイトを通して滞在してもらい、その良さを認識していただければ、農業の人手不足解消にも一役買うこととなりますが、積極的なPRや利用対象要件の拡充が必要と考えます。町としての考えを伺います。</p>		
※要旨の明細は小項目にわたりできる限り具体的かつ詳細に記載すること			
質問の相手	町 長	一問一答細目方式	有 <input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/>

十分な答弁が得られるよう具体的に記載して下さい。(複数枚可)

一 般 質 問 通 告 書

議席番号 2 番

議員名 加 藤 徹 己 (1 問目)

質問事項	震災を教訓にした防災体制について		
質問要旨	<p>本町の防災体制については、地域防災計画に基づいて整備されていますが、近年の震災は想定を超えるものとなっています。このことから、震災を受けた自治体などの教訓を活かした防災体制への強化が必要と考えますが、見解を伺います。</p>		
<p>要旨の明細</p> <p>※要旨の明細は小項目にわたりできる限り具体的かつ詳細に記載すること</p>	<p>1. 本町の備蓄資機材の保管場所は、主要避難所などを含めた小規模の施設に分散して保管され、避難所開設時に迅速に使用できるようになっています。しかし、大規模震災などでは大量の備蓄資機材が必要となります。また、国からのプッシュ型支援品などが大量に届くことから、安全な場所に、災害支援物資などの受け入れ・管理・配送などにも対応できるような大型の備蓄資機材の保管場所が必要と考えますが、見解を伺います。</p> <p>2. 主要避難所の開設・運営には、女性や子ども・車いす等の要配慮者が必要とするトイレの設置に加え、トレーラー型水洗トイレの手配なども必要と考えますが、見解を伺います。</p> <p>3. 住民が自らの命を守るためには、迅速かつ確実な災害情報伝達が重要となりますが、本町において防災行政無線戸別受信機の普及率が低いことから、早急に全戸設置に向けて取り組みを強化すべきと考えます。併せて、スマホ（アプリ・メール・SNS）やテレビなどを活用した情報伝達を併用し、より確実に住民に情報を届ける</p>		
質問の相手	町 長	一問一答細目方式	有 <input type="radio"/> 無 <input checked="" type="radio"/>

十分な答弁が得られるよう具体的に記載して下さい。(複数枚可)

<p style="text-align: center;">要 旨 の 明 細</p> <p>※ 要旨の明細は、小項目にわたり、できる限り具体的かつ詳細に記載すること</p>	<p>ことが重要です。そして、これらが住民に広く周知され、いざという時に十分に活用されることで、助かる命がありますので、さらに拡充・強化すべきと考えますが、見解を伺います。</p> <p>4. 本町の震災による防災体制は、十勝平野断層帯主部地震M7.4、最大震度7で、冬期早朝に発生したことを想定したものであります。しかし、近年国から日本海溝・千島海溝沿いを震源とした海溝型巨大地震、M9クラスを想定した推計が公表されています。積雪寒冷地という地域性も含めて、より広域・長期避難を見据えた防災体制への強化が必要と考えますが、見解を伺います。</p>
--	--

一 般 質 問 通 告 書

議席番号 10 番

議員名 阿 保 静 夫 (1問目)

質問事項	関係人口の増を目指す取り組みを		
質問要旨	<p>本町に興味を持ち、関与していきたいとの思いを持つ、関係人口を増やす取り組みが今後重要と考えますが、見解を伺います。</p>		
<p>要旨の明細</p> <p>※要旨の明細は小項目にわたりできる限り具体的かつ詳細に記載すること</p>	<p>関係人口とは、地元と本町という2拠点居住をする人、本町にルーツや愛着を持っている人などをそのように位置づけるということです。国土交通省の調査によると、2021年3月時点で1800万人近くが関係人口とされています。近年、新型コロナ感染拡大後、リモートワークの急速な浸透で関係人口は増加傾向にあり、まちづくりという観点からも本町で働きたいと思う方、本町にルーツがありここに来ると落ち着くと感じる方等とのつながりを深めていくことが重要と考えます。</p> <p>国は平成30年度から「関係人口創出・拡大事業」を実施し、その成果や課題を整理し、今後関係人口の創出・拡大に取り組む自治体とノウハウを共有する観点からとりまとめたとしています。</p> <p>本町においても、関係人口の創出につながる取り組みを実施してきたものと考えます。また、今後ふるさと納税の返礼品として、本別への来町招待を行うなども関係人口創出につながるのではと考えますが、これまでの成果を検証し、今後の関係人口の創出を図る考えはないか伺います。</p>		
質問の相手	町 長	一問一答細目方式	有 <input type="radio"/> 無 <input checked="" type="radio"/>

十分な答弁が得られるよう具体的に記載して下さい。(複数枚可)

一 般 質 問 通 告 書

議席番号 4 番

議員名 水 谷 令 子 (1問目)

質問事項	どう伝える？子どもへの防災教育		
質問要旨	<p>最近、各地で大きな地震や水害が頻発しています。自然災害は、いつどこで起こってもおかしくありません。これから起こる災害に備え、学校教育の場で、子どもへの防災教育はどう伝えているのか、これまでの取り組みと今後の考え方について伺います。</p>		
<p>要旨の明細</p> <p>※要旨の明細は小項目にわたりできる限り具体的かつ詳細に記載すること</p>	<p>1. 議会の総務常任委員会では、10月31日に平成30年北海道胆振東部地震において被災した、胆振管内厚真町に視察に行っていました。厚真町には、小学校2校、中学校2校及び道立高校1校があり、各学校が防災教育を行い、災害や防災の考え方、仕組み、働きなどの学習と、被災した子どもたちの心のケアと連動した防災学習を推進しています。本別町の各小中学校の具体的な防災学習の取り組みと消防署・町の防災担当のサポート体制を伺います。また、厚真町では先生への防災研修、講習が行われています。本別町の学校でも必要だと考えますが、見解を伺います。</p> <p>2. 本別高校では、自分の命は自分で守る（自助）を1番と考え、タブレットを活用し、校内で考えられる危険な場所（箇所）を特定し、心と行動の意識づけを訓練しているのと、町内の小中学校との合同防災訓練を希望する声も聞きます。町として連動した取り組みができるようにサポートが必要と考えますが、見解を伺います。</p>		
質問の相手	町 長・教 育 長	一問一答細目方式	有 <input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/>

十分な答弁が得られるよう具体的に記載して下さい。(複数枚可)

一 般 質 問 通 告 書

議席番号 7 番

議員名 藤 田 直 美 (1問目)

質問事項	書かない窓口申請の取り組みについて		
質問要旨	<p>現在、各種申請において書面に記入する作業が多く負担になっています。証明書の請求や住民異動の届出などの際に、申請書や届出書を書かないような体制とすることで“来庁者の手間を省く”サービスとなります。庁舎内から記載台が無くなり事務時間も削減され、町民と職員両者の負担軽減になります。</p>		
<p>要旨の明細</p> <p>※要旨の明細は小項目にわたりできる限り具体的かつ詳細に記載すること</p>	<p>1. 出生届から死亡届まで、その間たくさんの申請書等への記載が必要になっています。証明書や申請書等の手続き簡素化の考えについて伺います。</p> <p>2. 証明書の発行についても、行政窓口でしか申請できない時代は変化してきていると思います。コンビニや郵便局での証明書発行など、行政のデジタル化推進は業務の効率化やコスト削減だけではなく、手続きの簡素化につながると考えます。他自治体で行われている事例を参考にして、様々な困難を抱えている方が暮らしやすい町になるよう積極的に取り入れていくべきですが見解を伺います。</p> <p>3. 各課の横断的な推進体制が課題であると思いますが、各種申請にかかわるデジタル化のこれまでの取り組みとこれからの課題について伺います。</p>		
質問の相手	町 長	一問一答細目方式	有 <input type="radio"/> 無 <input checked="" type="radio"/>

十分な答弁が得られるよう具体的に記載して下さい。(複数枚可)